

今後のIT利活用を見据えた情報セキュリティ政策の総合的・戦略的推進について①

- 2020年頃までには、8K放送開始、スマートメータ普及、実用準天頂衛星システム事業など、国民生活を豊かにするIT利活用に関わる取組みが大きく進展
- また、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の頃には、画期的なICTサービスの登場が期待
- ICT利活用が一層進展すれば、一方でこれまで以上のリスクが懸念され、それに対応した情報セキュリティの確保が不可欠
- 今後の高度にICT利活用の進んだ我が国社会において、情報セキュリティの確保を実現し、また、オリンピック・パラリンピック東京大会の確実な開催のため、ICT利活用とセキュリティ対策のバランスのとれた施策を総合的・戦略的に推進することが必要

1. ICT利活用の促進に対応した情報セキュリティの確保

ICTを基盤とする社会システム／社会インフラの整備・普及や、新たなICT利活用サービス（例：オリンピック・パラリンピックなどで訪日した者などに対する高度なICT利活用サービスなど）の導入にあたっては、当初から必要な取組を戦略的に行うことが、効果的・効率的

- 社会システムの企画設計当初からリスク分析ベースで情報セキュリティ対策(BCP等)を導入
- 認証連携等の導入による新たなICT利用サービスの実証実験・実現
- オリンピック・パラリンピックに向けて設備投資当初からの情報セキュリティ対策（可用性の観点からの十分な帯域確保等を含む）の導入 等



今後のIT利活用を見据えた情報セキュリティ政策の総合的・戦略的推進について②

2. グローバルに通じる情報セキュリティ／サイバーセキュリティ研究開発の推進

高度化・複雑化する外部からのサイバー攻撃に対する防御能力向上に資する各種研究開発や社会科学も含めた情報セキュリティに係る研究に対し、科学技術からIT利活用までのリソースを総合的に集中して推進。成果のスタートアップなどによる実用化、我が国発のソフト・技術の国際標準化・グローバル化を促進

- 情報セキュリティ／サイバーセキュリティ研究に必要なデータの確保・共有促進
- 基礎研究能力の保持及びプロアクティブな対処の研究能力の強化
- 科学技術からIT利活用まで連携して、研究開発成果が産業活性化につながるイノベティブなスタートアップの促進
- 国際連携・国際標準化を戦略的に推進し我が国発のソフト・技術の競争力強化



3. 融合領域の情報セキュリティ／サイバーセキュリティ人材の育成

高度な情報セキュリティ／サイバーセキュリティ問題へ対処できる人材の育成には、コンピュータサイエンスのみならず組織経営、安全保障、危機管理、法律、心理など様々な領域の能力を身に付ける機会が不可欠。

- 経営・政策立案判断レイヤと実務者レイヤをつなぐことのできる人材の育成を目標
- 教育機関、企業、政府機関などの人材の循環に向けた環境整備
- オリンピック・パラリンピックなどIT利活用等の普及をにらんだ人材育成の強化

